

## 自然と共生する社会の実現に向けた河川・海岸における取組み

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する多自然川づくり等を推進。

多自然川づくり

多自然川づくり・自然再生事業の推進による良好な河川環境の形成に向け

自然再生事業

平成18年10月に「多自然川づくり基本方針」を策定。今後は「多自然川づくり」をすべての川づくりの基本とし、川づくりのあらゆるプロセスを通じて「多自然川づくり」を実現していく。

富山県・福岡県での多自然川づくりの例



< 施工前 >

両岸ともコンクリート護岸で固められ、水辺の生物の生息場がほとんどない。

< 施工後(約2年) >

瀬や淵が形成され、水際のだよみや植物の落とす影が魚たちの生息場となっている。



河川環境の自然再生とは、流域の視点から、人為的に制約を受けた「川のシステム」を元に戻す(=再自然化する)河川事業。また、極力人間の手を入れず、自然の復元力を活かして実施。

松浦川(佐賀県)の自然再生事業の例

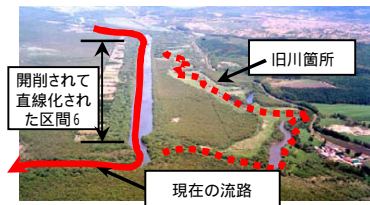
釧路川(北海道)の自然再生事業の例



昔あった豊かな生態系を育む湿地環境の回復

平成16年9月現在

「河川の氾濫原的湿地を再生」「人と生物のふれあいの再生」を目標として、地盤の掘り下げ、シードバンク手法による植生復元などを実施。



開削されて直線化された区間6  
旧川箇所  
現在の流路

自然再生の取り組みの一つとして、釧路川の茅沼地区において蛇行河川の復元を計画している。



蛇行河川に復元

### エコロジカルネットワークの推進

河川と流域との落差解消の取組み



河川と農業水路の落差解消のため、階段式魚道等を整備

魚道整備等による魚の遡上・生息環境改善に向けた取組み



河川の上下流方向及び河川と流域との連続性を確保するための魚道整備、段差解消等を実施

### 防護・環境・利用の調和した海岸づくりの推進

自然共生型海岸づくり  
(各々の環境特性に応じた多様な生物への配慮)

海岸の環境特性に応じた海岸づくり

役割分担  
合意形成  
支援ネットワーク構築と人材の育成

他事業との連携等  
アダプティブ・マネジメント

情報の蓄積・解析と情報公開



NPO等によるモニタリング

現地調査を含めてワークショップを開催

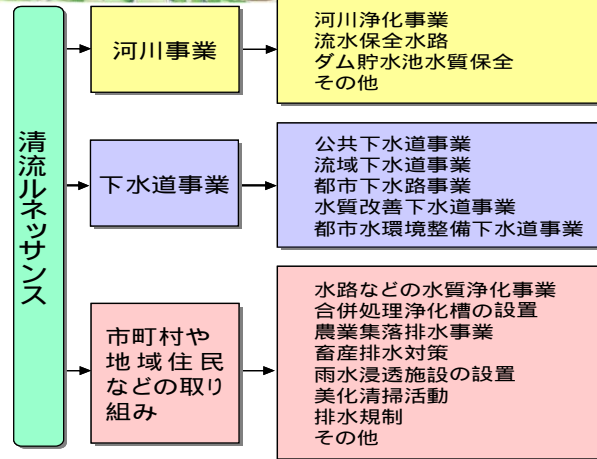
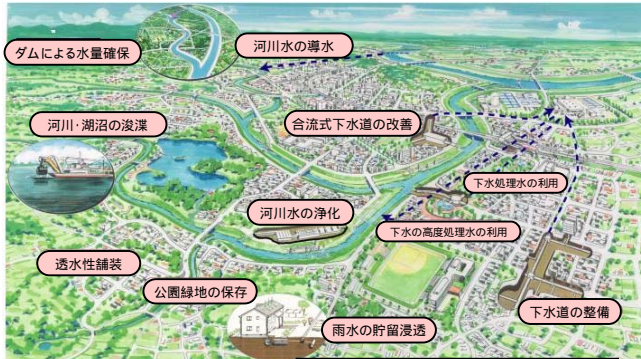
アカウミガメの上陸

子供たちとアカウミガメのふ化調査を実施

# 豊かな水辺づくり(その6)

水環境の悪化が著しい河川、都市下水路、湖沼、ダム貯水池等において、水質の改善、水量の確保を図るため、河川管理者、下水道管理者、地元自治体及び関係者が一体となって「水環境改善緊急行動計画」を策定、水環境改善施策を総合的かつ重点的に推進(清流ルネッサンス)。

## 清流ルネッサンスⅡ



**浄化用水の導入による水質浄化**

綾瀬川(埼玉県)

**底泥浚渫による水質浄化対策**

勢田川(三重県)

**下水処理水の上流還元による水質改善・水量回復**

不老川(埼玉県)

**雨水貯留浸透の推進等**

美しい水環境をとりもどし地域の自然・歴史・文化を活かした川づくりを地域と連携して実施することにより、良好な水辺空間をつくり出す。

景観に配慮した河川・溪流・海岸景観の形成を推進する。

## 水と緑あふれるまちづくり

水質の改善により、美しい水環境を取り戻し、観光の名所に。

松江堀川(島根県松江市)

穴道湖からの導水、底泥浚渫、周辺地域の下水道の整備等により水質が改善、堀川遊覧船も就航を開始し、新たな観光名所として、入り込み観光客数も増大。

年	松江観光客数(千人)	堀川遊覧観光客数(千人)
H6	250	0
H8	280	0
H10	320	100
H12	350	150
H14	330	180
H16	340	200

歴史的町並みと川が一体となった魅力ある水辺環境に。

勢田川(三重県伊勢市)

浄化用水の導入や川底の浚渫事業、下水道の整備により水環境改善に努めている勢田川は石段の残る商家や蔵が昔ながらの姿を今に残している伊勢の町並みと一体となって良好な空間を形成。

## 景観ガイドラインを踏まえた良好な水辺空間の整備促進

- 歴史・文化的要素を活かした河川
- 自然の石や地形を利用した砂防施設
- 砂浜端部に滑らかな収束感を与える突堤

**河川・海岸美化の推進**

- 巡視(パトロール)、CCTV等による監視
- 警告・啓発看板等の設置
- 愛護モニター制度やアドプト制度を活用した監視や啓発等